【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】令和4年1月12日(2022.1.12)

【公開番号】特開2020-109582(P2020-109582A)
【公開日】令和2年7月16日(2020.7.16)
【年通号数】公開・登録公報2020-028
【出願番号】特願2019-588(P2019-588)
【国際特許分類】
Ｇ０６Ｔ　7/20(2017.01)
Ａ６１Ｇ　7/043(2006.01)
Ａ６１Ｇ 12/00(2006.01)
Ｇ０６Ｆ　3/0481(2022.01)
Ｈ０４Ｎ　7/18(2006.01)
Ｇ０６Ｔ　7/00(2017.01)
【ＦＩ】
Ｇ０６Ｔ　7/20　３００Ａ
Ａ６１Ｇ　7/043
Ａ６１Ｇ 12/00　Ｚ
Ｇ０６Ｆ　3/0481
Ｈ０４Ｎ　7/18　Ｄ
Ｇ０６Ｔ　7/00　Ｃ

【手続補正書】
【提出日】令和3年12月28日(2021.12.28)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
寝床を含む所定領域の距離画像を取得する距離画像取得手段と、
前記距離画像内における前記寝床を含む処理領域を設定する処理範囲設定手段と、
前記距離画像に基づいて、設定された前記処理領域内の人物の動作を検出する検出手段と、を備え、
前記処理範囲設定手段は、外形が矩形である前記寝床の４辺それぞれについて、当該寝床の辺から当該寝床の外側に位置する所定箇所までの距離を、前記処理領域の外縁箇所の指定として受け付けて、前記寝床の４辺それぞれを当該各辺から指定された距離まで広げるよう前記処理領域を設定する、
情報処理装置。
【請求項２】
請求項１に記載の情報処理装置であって、
前記距離画像と、前記処理領域の外縁箇所の指定を入力する入力画面と、を同時に表示部に表示出力する表示処理手段を備えた、
情報処理装置。
【請求項３】
請求項１又は２に記載の情報処理装置であって、
前記寝床の領域と前記処理領域とを同時に、前記寝床の領域と前記処理領域とを区別して表示部に表示出力する領域表示処理手段を備えた、

情報処理装置。
【請求項４】
寝床を含む所定領域の距離画像を取得し、
前記寝床の外側に位置する処理領域の外縁箇所の指定を受け付けて、当該受け付けた前記外縁箇所の指定に応じて、前記距離画像内における前記寝床を含む前記処理領域を設定する際に、外形が矩形である前記寝床の４辺それぞれについて、当該寝床の辺から当該寝床の外側に位置する所定箇所までの距離を、前記処理領域の外縁箇所の指定として受け付けて、前記寝床の４辺それぞれを当該各辺から指定された距離まで広げるよう前記処理領域を設定し、
前記距離画像に基づいて、設定された前記処理領域内の人物の動作を検出する、
情報処理方法。
【請求項５】
情報処理装置に、
寝床を含む所定領域の距離画像を取得する距離画像取得手段と、
前記寝床の外側に位置する処理領域の外縁箇所の指定を受け付けて、当該受け付けた前記外縁箇所の指定に応じて、前記距離画像内における前記寝床を含む前記処理領域を設定する際に、外形が矩形である前記寝床の４辺それぞれについて、当該寝床の辺から当該寝床の外側に位置する所定箇所までの距離を、前記処理領域の外縁箇所の指定として受け付けて、前記寝床の４辺それぞれを当該各辺から指定された距離まで広げるよう前記処理領域を設定する処理範囲設定手段と、
前記距離画像に基づいて、設定された前記処理領域内の人物の動作を検出する検出手段と、
を実現させるためのプログラム。